
2006 年度第1四半期
決算公表資料

三菱商事株式会社

〒100-8086 東京都千代田区丸の内 2-3-1

【 問合わせ先 】 IR部 TEL: 03-3210-8581 / 8683 / 8685

2007年3月期 第1四半期財務・業績の概況(連結) [米国会計基準]

2006年7月28日

上場会社名 三菱商事株式会社

(コード番号: 8058 東大名)

(URL <http://www.mitsubishicorp.com>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 小島順彦

責任者役職・氏名 コントローラー オフィス

予・決算管理チームリーダー 蜂谷由文 TEL (03) 3210 - 2813

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

2007年3月期第1四半期 連結子会社数 364社 持分法適用関連会社数 189社

(参考) 2006年3月期 連結子会社数 365社 持分法適用関連会社数 185社

(注) 連結対象会社数には、当社が直接連結経理処理を実施している会社のみ含めております。

2. 2007年3月期 第1四半期財務・業績の概況(2006年4月1日～2006年6月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満四捨五入)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2007年3月期 第1四半期	4,877,336	(12.7)	108,481	(63.3)	176,213	(69.8)	124,434	(60.7)
2006年3月期 第1四半期	4,328,840	(7.5)	66,435	(83.4)	103,781	(70.9)	77,452	(80.9)
(参考) 2006年3月期	19,067,153	(11.3)	349,864	(90.8)	478,383	(128.0)	350,045	(91.9)

	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
2007年3月期 第1四半期	73.78		73.35	
2006年3月期 第1四半期	49.47		45.70	
(参考) 2006年3月期	215.38		205.62	

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期の売上高は、エネルギーや金属関連子会社での取引が堅調に推移したことなどにより、前年同期を5,485億円(12.7%)上回る4兆8,773億円となりました。売上総利益は、原料炭事業が堅調に推移したことに加え、鉄鋼製品が引き続き好況であったことなどにより、前年同期を573億円(24.8%)上回る2,879億円となりました。販売費及び一般管理費は、新規連結子会社の影響などにより負担増となりましたが、売上総利益の増加がこれを上回り、営業利益は前年同期比420億円(63.3%)増加の1,085億円となりました。その他の損益項目については、為替関連損益の悪化によりその他の損益が悪化しましたが、ダイヤモンドシティ株式の売却益などにより有価証券損益が大幅な増益となりました。持分法による投資損益も、エネルギーや金属の資源関連が引き続き堅調に推移したことなどにより、前年同期比45億円(18.9%)増加の280億円となりました。

以上の結果、当期純利益は前年同期比470億円(60.7%)増益の1,244億円となりました。

尚、当年度の通期見通し3,700億円に対する達成率は33.6%となっております。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産		株主資本		株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	百万円	%		円	銭
2007年3月期 第1四半期	10,416,747	2,417,086	23.2		1,432.78		
2006年3月期 第1四半期	9,192,290	1,600,908	17.4		1,022.40		
(参考) 2006年3月期	10,411,241	2,379,264	22.9		1,411.38		

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末の総資産は、サハリンプロジェクトなどへの投資や、不動産関連子会社の新規連結による増加があったものの、LPG事業の再編に伴う営業債権の減少や、上場有価証券の含み益の減少により、前年度末比ほぼ横ばいの10兆4,167億円となりました。株主資本は、上場有価証券の含み益減少による未実現有価証券評価益の減少や配当支払があったものの、当期純利益の積み上がりにより、前年度末比378億円増加の2兆4,171億円となりました。また、有利子負債総額から現金及び現金同等物を控除した有利子負債額(ネット)は、前年度末比370億円減少の3兆1,117億円となり、有利子負債額(ネット)を期末資本合計で除した有利子負債倍率(ネット)は1.3倍となりました。

(注) 当社の連結財務諸表は、米国会計基準により作成しております。

第1四半期迄の数値については、監査法人による会計監査を受けておりません。

売上高、営業利益、税引前利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同期比増減率です。

売上高及び営業利益については、日本の投資家の便宜を考慮して、日本の会計慣行に従い表示しております。

なお売上高は、当社及び連結子会社が契約当事者または代理人等として行った取引額の合計となっております。

[参考]

2007年3月期の連結業績予想(2006年4月1日～2007年3月31日)

2007年3月期の連結業績予想については変更はありません。

連 結 損 益 計 算 書

[米国の会計基準により作成]

三 菱 商 事 株 式 会 社

(単位：百万円)

科 目	2006年度 第1四半期 (2006.4～ 2006.6)	2005年度 第1四半期 (2005.4～ 2005.6)	前 年 同 期 比	
			増 減 額	増 減 率
収益				%
商品販売及び製造業等による収益	1,015,893	893,706	122,187	13.7
売買取引に係る差損益及び手数料	186,922	162,491	24,431	15.0
収益合計	1,202,815	1,056,197	146,618	13.9
商品販売及び製造業等による収益 に係る原価	914,952	825,602	89,350	10.8
売 上 総 利 益	287,863	230,595	57,268	24.8
その他の収益・費用				
販売費及び一般管理費	179,561	162,987	16,574	10.2
貸倒引当金戻入額（繰入額）	179	1,173	1,352	/
利息（受取利息差引後）	2,747	184	2,563	1,392.9
受取配当金	20,471	18,684	1,787	9.6
有価証券損益	53,933	3,242	50,691	/
固定資産損益	1,892	4,068	2,176	/
その他の損益	5,817	11,536	17,353	/
その他の収益・費用計	111,650	126,814	15,164	/
税 引 前 利 益	176,213	103,781	72,432	69.8
法人税等	70,295	40,010	30,285	/
税 引 後 利 益	105,918	63,771	42,147	66.1
少数株主持分利益	9,526	9,896	370	/
持分法による投資損益	28,042	23,577	4,465	18.9
当 期 純 利 益	124,434	77,452	46,982	60.7

- (注) 1. 当連結財務諸表は、監査法人による会計監査を受けておりません。
 2. 日本の会計慣行による「売上高」及び「営業利益」は、次の通りとなります。

	2006年度第1四半期	2005年度第1四半期	増減額	増減率(%)
売 上 高	4,877,336	4,328,840	548,496	12.7
営 業 利 益	108,481	66,435	42,046	63.3

「売上高」は、当社及び連結子会社が契約当事者または代理人等として行った取引額の合計です。
 「営業利益」は、「売上総利益」、「販売費及び一般管理費」及び「貸倒引当金戻入額（繰入額）」を合計したものです。

要約連結貸借対照表

[米国の会計基準により作成]

三菱商事株式会社

(単位：百万円)

	2006年6月末	2006年3月末	増減額
<u>資産の部</u>			
流動資産			
現・預金及び短期運用資産	879,491	842,496	36,995
営業債権（貸倒引当金控除後）	3,241,713	3,298,879	57,166
棚卸資産	838,236	840,874	2,638
その他の流動資産	461,752	401,271	60,481
流動資産合計	5,421,192	5,383,520	37,672
投資及び長期債権			
関連会社投資等及びその他の投資	2,925,324	2,974,878	49,554
長期債権（貸倒引当金控除後）	439,490	440,788	1,298
投資及び長期債権合計	3,364,814	3,415,666	50,852
有形固定資産（減価償却累計額控除後）	1,346,415	1,327,272	19,143
その他の資産	284,326	284,783	457
合計	10,416,747	10,411,241	5,506
<u>負債及び資本の部</u>			
流動負債			
短期借入金及び一年以内に			
期限の到来する長期借入債務	894,069	917,789	23,720
営業債務	2,547,745	2,561,402	13,657
その他の流動負債	670,106	662,229	7,877
流動負債合計	4,111,920	4,141,420	29,500
長期借入債務	2,895,397	2,877,149	18,248
その他の固定負債	720,881	745,716	24,835
少数株主持分	271,463	267,692	3,771
資本			
資本金	198,463	197,818	645
資本剰余金	252,697	251,598	1,099
利益剰余金			
利益準備金	38,287	37,695	592
その他の利益剰余金	1,536,756	1,450,012	86,744
累積その他の包括損益			
未実現有価証券評価益	505,583	544,328	38,745
未実現デリバティブ評価損	12,999	7,151	5,848
最小年金債務調整額	2,656	2,669	13
為替換算調整勘定	97,957	91,250	6,707
累積その他の包括損益合計	391,971	443,258	51,287
自己株式	1,088	1,117	29
資本合計	2,417,086	2,379,264	37,822
合計	10,416,747	10,411,241	5,506

(注)当連結財務諸表は、監査法人による会計監査を受けておりません。

連結包括損益計算書

[米国の会計基準により作成]

三菱商事株式会社

(単位：百万円)

科 目	2006年度 第1四半期 (2006.4 ~ 2006.6)	2005年度 第1四半期 (2005.4 ~ 2005.6)
包括損益		
当期純利益	124,434	77,452
当期その他の包括損益 - 税効果後		
未実現有価証券評価益増減額	38,745	12,939
未実現デリバティブ評価損増減額	5,848	475
最小年金債務調整額期中増減額	13	47
為替換算調整勘定期中増減額	6,707	25,500
当期その他の包括損益 - 税効果後 - 計	51,287	37,917
包括損益合計	73,147	115,369

(注)当連結財務諸表は、監査法人による会計監査を受けておりません。

オペレーティング・セグメント情報

[米国の会計基準により作成]

三菱商事株式会社

当第1四半期(2006.4~2006.6)

(単位:百万円)

	新機能事業	エネルギー事業	金 属	機 械	化 学 品	生 活 産 業	計	消 去 又は全社	連 結 金 額
売上総利益	12,769	21,057	99,047	48,331	20,807	83,273	285,284	2,579	287,863
持分法損益	834	8,907	6,671	4,570	3,408	4,322	28,712	670	28,042
当期純利益	517	14,022	45,471	34,318	7,039	11,913	113,280	11,154	124,434
総 資 産	788,898	1,484,812	2,824,095	2,454,701	702,279	1,934,375	10,189,160	227,587	10,416,747
売 上 高	63,105	1,084,019	1,187,392	831,622	516,472	1,200,918	4,883,528	6,192	4,877,336

前年同期(2005.4~2005.6)

(単位:百万円)

	新機能事業	エネルギー事業	金 属	機 械	化 学 品	生 活 産 業	計	消 去 又は全社	連 結 金 額
売上総利益	11,373	21,545	53,092	45,468	18,839	79,094	229,411	1,184	230,595
持分法損益	1,337	6,605	5,546	4,275	2,994	3,679	24,436	859	23,577
当期純利益	5,767	15,702	17,582	14,492	6,825	12,528	72,896	4,556	77,452
総 資 産	768,909	1,152,226	2,105,127	2,259,899	647,635	1,809,306	8,743,102	449,188	9,192,290
売 上 高	54,068	949,729	959,320	735,134	458,358	1,178,138	4,334,747	5,907	4,328,840

- (注) 1. 各オペレーティング・セグメント情報は、監査法人による会計監査を受けておりません。
 2. 売上高については、日本の投資家の便宜を考慮して、日本の会計慣行に従い表示しております。
 なお、売上高は当社及び連結子会社が契約当事者または代理人等として行った取引額の合計となっております。
 3. 当第1四半期及び前年同期における総資産のうち「消去又は全社」の項目に含めた全社資産の金額は、それぞれ1,058,683百万円、1,008,103百万円です。その主なものは財務活動にかかる現金・預金及び有価証券等の資産です。

2006年度第1四半期連結決算(米国基準)

損益の状況 (単位:億円)	2006年度		2005年度		2006年度 通期業績見通し		前年同期比の増減		
	第1四半期	第1四半期	増減	第1四半期	増減	達成率			
売上高(*1)	48,773	43,288	5,485	192,000	25%				
売上総利益	2,879	2,306	573	11,100	26%	a	a.【売上総利益】 金属資源、鉄鋼製品の好況に加え、新規連結会社の影響などにより、売上総利益は前年同期比25%の増益となった。		
販売費及び一般管理費 貸倒引当金戻入額(繰入額)	1,796 2	1,630 12	166 14	7,250 50	25%	b	b.【販売費及び一般管理費】 新規連結の影響などにより、総利益の増加見合いに販管費も増加した。		
営業利益(*1)	1,085	664	421	3,800	29%		c.【金融収支】 金利上昇の影響により、金融収支は悪化した。		
利息(受取利息差引後)	27	2	25	300	9%	c			
受取配当金	205	187	18	700	29%		d.【有価証券損益】 上場有価証券評価損 … 7[8 1] 不良資産償却関連損失 … +10[6 16] その他株式売却損益等 … +504[+553 +49] [ダイヤモンドシティ売却益+438]		
有価証券損益	539	32	507	800	62%	d			
固定資産損益	19	41	22					e	
その他の損益	59	116	175						
税引前利益	1,762	1,038	724	5,000	35%		e.【固定資産損益】 固定資産売却益の減少により悪化した。		
法人税等	703	400	303	2,200	32%		f.【その他の損益】 為替関連損益の悪化により、その他の損益は悪化した。		
少数株主持分	95	99	4	350	27%				
持分法による投資損益	280	236	44	1,250	22%	g	g.【持分法投資損益】 資源関連が好調に推移したことなどにより増益となった。		
当期純利益	1,244	775	469	3,700	34%				

(*1)売上高及び営業利益については、日本の投資家の便宜を考慮して、日本の会計慣行に従い表示しております。
なお、EITF第99-19号に従って収益を表示すると、2006年第1四半期は12,028億円、2005年第1四半期は10,562億円となります。

基礎収益(*2)	1,541	1,097	444	5,500	28%
----------	-------	-------	-----	-------	-----

(*2)基礎収益 = 営業利益(貸倒引当金繰入額控除前) + 利息収支 + 受取配当金 + 持分法による投資損益

資産と負債の状況	2006年6月末		2006年3月末		2007年3月末見通し (2006/4/28公表時)		2006年3月末比の増減
	当四半期末	当四半期末	増減	当四半期末	増減	当四半期末比	
総資産	104,167	104,112	55	115,000	10,833	h	h.【総資産】 投資実行による増加はあったものの、上場有価証券の含み益減少により総資産は横ばい。
株主資本	24,171	23,793	378	27,000	2,829	i	i.【株主資本】 有価証券の含み益減少及び利益配当があったものの、当期利益の積み上げにより増加。
有利子負債 GROSS(*3)	38,010	38,026	16	41,000	2,990	j	j.【有利子負債】 有利子負債GROSSは横ばいだが、キャッシュポジションが改善したため、有利子負債NETは減少
有利子負債 NET(*3)	31,117	31,487	370	35,000	3,883		
(有利子負債倍率 GROSS)	(1.6倍)	(1.6倍)	-	(1.5倍)	(0.1倍)		
(有利子負債倍率 NET)	(1.3倍)	(1.3倍)	-	(1.3倍)	-		

(*3)有利子負債にはFAS133適用による影響額を含めておりません。

【主要指標推移】	2006年度		2005年度		増減
	第1四半期	第1四半期	第1四半期	第1四半期	
油価(USD/BBL)	64.8	47.9	16.9	(35%の上昇)	
為替(YEN/USD)	114.5	107.7	6.8	(6%の円安)	
金利(%TIBOR)	0.21	0.08	0.13	(163%の上昇)	

【参考数値について】
*2 基礎収益 : 当社の収益力を測るため、経常的に発生する損益項目を集計した参考値。
*3 有利子負債 : BSに計上された有利子負債勘定のうち実際に当社に返済義務のある調達資金に限定した参考値。

2006年度第1四半期 決算公表参考資料

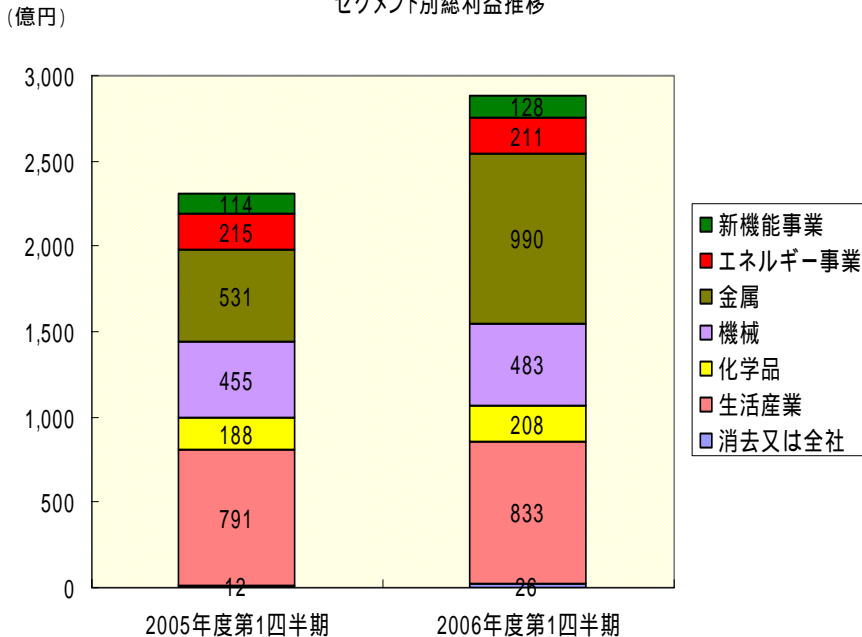
2006年7月28日

三菱商事株式会社

主要PL項目の前年同期比増減

(億円)	2006年度 第1四半期	2005年度 第1四半期	増減	増加率	2006年度 通期見通し	達成率
売上高	48,773	43,288	5,485	13%	192,000	25%
総利益	2,879	2,306	573	25%	11,100	26%
営業利益	1,085	664	421	63%	3,800	29%
連結純利益	1,244	775	469	61%	3,700	34%
基礎収益	1,541	1,097	444	40%	5,500	28%

セグメント別総利益推移



過去のトラックレコード (四半期単位)

四半期決算を開始した2000年度
第3四半期以降が比較対象

売上高・・・過去3番目の水準

(過去最高は2005年度第4四半期5.1兆円)

売上総利益・・・過去最高益

(従来最高益は2005年度第4四半期 2,788億円)

営業利益・・・過去最高益・四半期で初めて営業利益1,000億円超

(従来最高益は2005年度第2四半期 977億円)

連結純利益・・・過去最高益

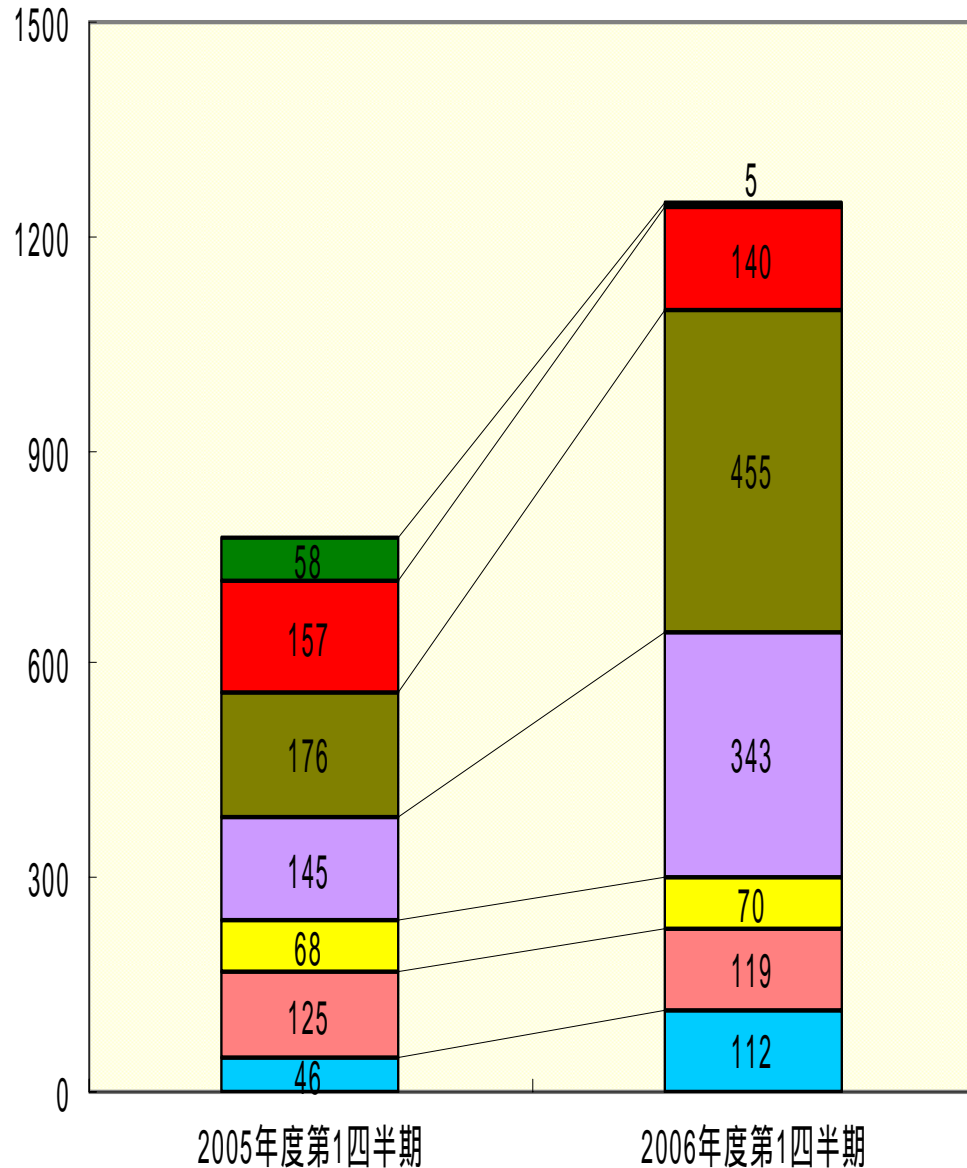
(従来最高益は2005年度第3四半期 1,017億円)

基礎収益・・・過去最高益

(従来最高益は2005年度第4四半期 1,485億円)

セグメント別連結純利益の前年同期比増減

(億円)



- 新機能事業
- エネルギー事業
- 金属
- 機械
- 化学品
- 生活産業
- 消去又は全社

セグメント別増減理由

新機能事業・・・金融子会社の為替評価損益の悪化により減益

エネルギー事業・・・プロジェクト進捗に伴う開発費用増、及び資源関連投資先からの配当一部未実行により減益

金属・・・原料炭事業、鉄鋼製品事業の好調、市況上昇による資源関連投資先の持分利益及び受取配当金増加により増益

機械・・・ダイヤモンドシティ株式売却益により増益

化学品・・・各事業が堅調に推移し横ばい

生活産業・・・食料関連子会社で新規設備投資に伴う費用増の影響で微減

資源価格の推移

	2006年度 第1四半期	2005年度 第1四半期	増減
油価(ドバイ) (\$ /BBL)	64.8	47.9	16.9
銅価 (\$ /MT)	7,210	3,388	3,822
アルミ価格 (\$ /MT)	2,653	1,790	863
原料炭 (前年度価格) (\$ /MT)	125.0	56.5	68.5

商品市況・為替の状況

	第1四半期の状況 (4-6月平均)	通期見通しの前提	増減	連結純利益に対する損益インパクト
為替 (YEN/\$)	114.50	110.00	4.50	1円円安につき年間19億円の増益インパクト
円金利 (%) 3ヶ月TIBOR	0.21	0.30	0.09	取引利益や投資利益により金利上昇の影響は相殺される部分が相当あるが、金利上昇が急である場合には一時的に影響を受ける。
US\$金利 (%) 3ヶ月LIBOR	5.22	5.00	0.22	
油価 (ドル/イ) (\$/BBL)	64.8	55.0	9.8	\$1上昇につき年間10億円の増益インパクト
銅地金 (\$/MT)	7,210	4,630	2,580	\$100上昇につき年間4.5億円の増益インパクト
アルミ地金 (\$/MT)	2,653	2,300	353	\$100上昇につき年間10億円の増益インパクト

商品市況・為替は通期見通しの前提を上回る水準か同水準で推移している。

